



ロシアが築く戦時「利権システム」 穀物売りさばく闇ルート

【キーウ(ウクライナ)】ロシアがウクライナで行う戦争は、爆撃や銃撃だけでなく、それと並行して経済戦争を活発に展開している。

その最前線は、ロシア支配下にあるウクライナの農地だ。ロシアとそのパートナーたちは盗み出した約10億ドル(約1400億円)の穀物を、急拡大する闇市場で売りさばいている。

ウクライナに侵攻したロシア軍は2022年以降、欧州屈指の肥沃(ひよく)な農地の一部を占領している。ロシア軍は収穫物を押収したり、(大抵は強制的に)安く買いたたいたりしている。

このビジネスには、ロシアの戦時利権システムの恩恵にあずかる幅広い顧客のネットワークが関与している。侵攻の装備を提供するロシアの造船所をはじめ、イラン革命防衛隊(IRGC)の関連企業、シリアやイスラエルと貿易を行うクリア半島の実業家などだ。別の1社はアラブ首長国連邦(UAE)経由で販売している。

略奪したウクライナの穀物を取引することで、ロシアは経済的圧力が強まる中でも、同盟関係にある国々を資金で潤し、ロシアへの忠誠心を保つことが可能となる。それはロシア大統領府の目的に役立つ一種の薄外資金調達手段となっている。この件について、ロシア大統領府はコメントの求めに応じなかった。「戦争が自らを養っているようなものだ」。ウクライナ検察当局の穀

物盗捜査を支援している権利団体「プロジェクト・エクスベダイト・ジャスティス」の法務責任者パスカ・ルターラン氏はこう指摘する。「違法貿易は、ロシア大統領府が後盾の利権システムに収益をもたらし、ひいては紛争や占領の継続を助けている」



Photographs by Svet Jacqueline for WSJ
2024年9月18日 12:05 JST

戦争による大混乱とロシアが巡らす策略の中で、ロシア政府がくすねた穀物の正確な商業的価値をはじき出すのは難しいが、金額が大きいたことは確かだ。2022年以降、ウクライナのロシア支配地域から少なくとも400万トンの穀物などが国際市場に直接出荷され、8億ドルの収益を生んでいる。ウクライナ農業政策・食料次官のマルキヤン・ドミトラセビッチ氏はそう述べた。

ウクライナの非営利団体(NPO)Textyによると、さらに多くの穀物が陸路や小型船で輸出されている。同NPOの推計では、ロシアの支配地域で奪われた穀物の総額は最大64億ドルに上る可能性がある。

戦時利権システムにはさまざまな形態がある。米政府によると、大量の違法穀物を輸出している積み船3隻は、いくつかの企業体を經由してロシアの国営企業、統一造船会社に所有されているが、同社はウクライナの各都市を砲撃するの

農場から海へ

ロシアによる穀物の違法貿易は、ウクライナの農場に始まる。ロシア軍は農民に市場より安い価格で作物を売るよう強要するか、それらを(時には銃口を向けて)略奪する。

ロシアが侵攻直後に制圧した南部ヘルソン州のサイロ(穀物貯蔵庫)管理者ボフダン・カテレニャク氏は2022年8月、事務所ですべての穀物を焼くか、目出し帽をかぶった男たちが機関銃を手にして入ってきたと話す。

「ここを引き継ぐ命令を受けている」。1人の男がチェェン地方のアクセントでこう告げ、ロシアの治安機関、連邦保安局(FSB)の身分証明書を見せた。数日後、FSBのエージェントを名乗る別の男がやってきて、施設内の穀物を没収した。

に使われる軍艦も製造している。

ロシアが支配地域で行う略奪活動を記録するウクライナのプロジェクト「キボオルグ・ニュース」が入手した文書によると、ウクライナ南部ザポロジエ州の占領地域の穀物を独占的に販売していたロシア企業は、1000万ルーブル(約1500万円)を同州で戦うロシアの大隊に寄付した。

ロシアはウクライナの穀物輸出も攻撃している。ウクライナ産小麦を積んでエジプトに向かった船が11日、黒海沿岸の港を出た直後、ロシアのミサイル攻撃を受けた。ウクライナのウオロディミル・ゼレンスキー大統領が通信アプリ「テレグラム」の自身のチャンネルでそう述べた。

「あれは盗賊だ」。男たちについてカテレニャク氏はこう語る。恐怖のあまり、ウクライナの支配地域に逃げ込んだが、後日サイロが空にされたことを知った。

こうした農場からトラックや鉄道で穀物が黒海沿いの港に運ばれる。港の一部はウクライナ領土内でロシアが制圧した地域にある。ロシア当局によると、侵攻後に制圧したもう一つの都市マリウポリから、今年上半期にトルコに向けて8万1000トンの小麦を積んだ船15隻が出航したという。

By Benoit Faucon

記事の続きは
こちらから▼



人々の食文化を支え、その未来を変える

農機具事業

肥料分配機の下取受付中！
修理・メンテナンスもご相談ください。

肥料分配機で作業をもっとラクに、迅速に。

フレコンバックから直接播種機に充填し、手元スイッチで簡単に分配供給できます。これさえあれば、楽しく時間を短縮できます。



アグリテック事業

下見・見積もり無料！
雪腐れ病の防除も受付中。

ドローン散布で適期を逃さない！

農薬・種子・粒剤の散布サービスは、十勝の当社にお任せください！緊急時も、迅速丁寧に対応します。センシングサービスも受付中。



[使用ドローン] DJI Agras T30



0155-66-2011

株式会社エコーウェルネス 〒082-0384 河西郡芽室町上美生 4 線 38

エコーウェルネス
公式 HP



エコーグループ
公式 HP

